

業 務 概 要 説 明 書

事業名：阿久根市地域公共交通計画策定調査業務

地域公共交通調査事業の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

本市は鹿児島県の北西部に位置し、人口19,347人(令和3年11月末現在)、総面積134.29km²で、東西11.1km、南北22.4kmと南北に細長い形状をしており、西側は東シナ海を望み、東側は紫尾山系が迫り、平地が少なく、比較的起伏に富んだ地形となっている。

市内の交通状況として、市北部には高規格道路「出水阿久根道路」が完成し、阿久根北ICから隣市の出水市へは車で約15分であり、将来的に当該ICが北薩横断道路とつながることで、長島・天草方面への移動も格段に向上する見込みであり、交通の要衝となる可能性が大きい。一方、県庁所在地である鹿児島市までは、高規格道路が現在、薩摩川内市の水引ICまでしか延伸しておらず、車で約80分程度を要する状況にある。

本市は、平成の大合併時に隣市町との合併協議が整わず、以来、単独での市政運営を行っている。65歳以上の老年人口割合は、41.8%(令和2年国勢調査)に達しており、県平均(32.5%)と比較してもかなり高齢化が進行している地域といえる。

本市の公共交通機関は、南北の細長い地形に合わせ、幹線道路である国道3号と鉄道が縦断しており、それぞれ民間事業者により南国交通バスと肥薩おれんじ鉄道が運行されている。

その他の交通手段としては、交通空白地の交通手段を確保するため、市において乗合タクシー(10地区)及び高齢者等福祉タクシーの事業を実施している。

各交通機関を乗り継ぐなどして、市内各所への移動が円滑にできるようになれば、地域資源を生かした観光面での人の移動・交流も期待できると思われるが、現状では、決して利便性が高い状態ではないため、車での移動が最も効率的であり、現実的である。

少子高齢化、人口減少、家庭における車の保有台数等の増加など、社会経済情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、バス、鉄道、タクシーなど公共交通機関の利用は年々減少している状況にある。

当市では、公共交通を維持するため補助金等による支援を行っているが、年間経費は約1,630万円(路線バス補助約840万円、鉄道補助約140万円、乗合タクシー、福祉タクシー補助約650万円)に及び、近年は増加傾向にある。また、少子高齢化、人口減少が進む中であって、自家用車等を有しない住民、公共交通機関を利用して当市を訪れる観光客等の円滑な移動のため全市における総合的かつ効率的な公共交通体系の構築が喫緊の課題となっている。

〔計画の区域内における公共交通の概要〕(調査時点)

	路線バス		デマンド(バス・タクシー)事業者数	その他
	事業者数	路線数		
全体	1	3	2	鉄道 タクシー 1事業者1路線 2事業者
うち公営・コミバス等	0	0	0	

2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

地域公共交通計画において、各種調査・アンケート等の実施を通じて、住民のニーズをはじめ、地域の現状、課題、将来的な動向等を把握し、数値に基づく分析を行うことで、地域の特性に応じた移動手段の維持・確保に資することにもつながる。交通に関する各種課題の解決にとどまらず、まちづくり、観光振興、健康、福祉、教育、環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすことが期待できる。

こうした状況を踏まえ、当市の交通政策に関する課題の解決に向け、上位計画や関連計画との整合を図りつつ、地域公共交通のマスタープランとなる「地域公共交通計画」を策定し、この計画を基にまちづくり・観光と連動した持続可能な運送サービスの提供に取り組むこととする。

計画策定のためには、人口（構成・分布）及び土地利用、都市機能配置等の状況、地区別の移動実態、バス停等エリア内の人口分布、地形等に基づき、地域公共交通に関する実態、ニーズ把握調査（公共交通利用者アンケート調査、市民アンケート調査）、公共交通事業者等関係機関ヒアリング調査）の実施することが必要となっている。

現状では、隣接する市町との公共交通計画における連携等は特段行われていないが、当市には複数の市町をまたぐ幹線系統の南国交通バスと肥薩おれんじ鉄道が運行されていることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を契機として、今後も安定した事業継続に資するため、薩摩川内市及び出水市との間での協議の場について設置の可能性を模索する必要がある。

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
1 法律の改正，関連事業等の整理	「地域公共交通計画」を検討する上での改正ポイント，計画策定後に活用できる補助事業メニューを整理し，本市で活用する事業内容を確認する上での基礎資料とする。 また，全国で行われている最新モビリティサービス導入事例，最新技術の整理を行う。
2 地域概況に関する整理	本市の上位関連計画，既存資料・データ等を基に，次の項目について地域特性を把握し整理する。 本市の公共交通利用実績データ等を活用し，交通機関の利用状況について把握するとともに，隣接市や鹿児島市などの県内主要地点との地域間との連絡についても整理する。 また，公共交通の維持・確保は，今後厳しくなることを踏まえ，公共交通以外の交通資源の状況等の整理も併せて行う。
3 地域交通に関する実態，ニーズ把握調査	地域住民を対象としたアンケート調査により，住民の移動先，時間帯，交通手段などを網羅的に把握し，地域全体の移動需要を整理する。また，潜在的な公共交通利用の可能性のある住民及び交通事業関係者に個別にヒアリングを実施する。
4 阿久根市地域公共交通計画（案）のとりまとめ	現況調査及び住民ニーズ把握調査などの結果を基に，持続可能な公共交通計画の策定に当たっての問題点や課題を整理し，上位計画や関連計画を踏まえつつ，地域にとって望ましい公共交通計画の在り方についての基本方針をまとめる。 また，基本方針に沿って，持続可能な公共交通計画の策定に向けた目標，事業の実施主体，スケジュール等を具体的に反映させた計画を取りまとめる。
5 協議会の開催	計画策定に向けた調査内容や，調査結果を受けて今後の交通体系の在り方について議論するため，地域公共交通活性化協議会を開催する。

4. スケジュール			
実施項目	9月	12月	3月
1 法律の改正，関連事業等の整理			
2 地域概況に関する整理			
3 地域交通に関する実態，ニーズ把握調査			
4 地域公共交通計画（案）のとりまとめ			
5 協議会の開催			